

知立市市制50周年事業
基本構想

知立市

2018年2月

1 基本理念

市制 50 周年という大きな節目を迎えるにあたり、全市をあげて記念事業を実施します。

実施にあたっては、知立市の礎を築いてきた先人達の功績をたたえとともに、未来の知立市を築いていく次世代の育成に取り組むものとします。

また、第 6 次知立市総合計画（2015～2024）に掲げている将来像「輝くまち みんなの知立」を達成するため、行政のみによる形式的事業ではなく、市民の皆さんが自ら企画・立案し、行政とともに手を携えて行動することのできる事業とします。

2 基本方針

(1) シビックプライド

市制 50 周年を全市あげて祝い、市への愛着やシビックプライド（市民の誇り）の醸成を図ります。

(2) 未来志向の取り組み

これまでの市の歴史を振り返るとともに、これからの市を意識し、将来に繋がる取り組みや、次世代への遺産となる取り組みを実施します。

(3) 市民協働の醸成

あらゆる分野において、自助・共助の概念が行き渡るよう、市民が主役の事業とします。

(4) シティプロモーションの推進

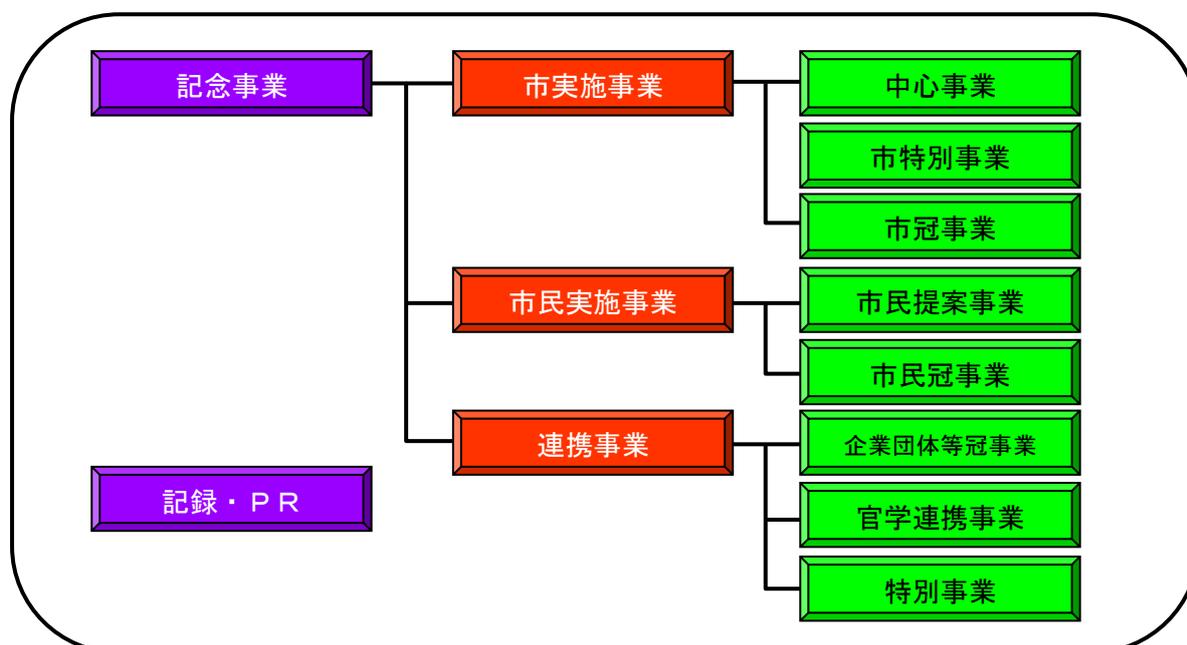
市制 50 周年を契機に知立市の特徴を再認識し、市内外に向けて情報発信することで、知名度向上を図ります。

3 事業期間

(1) 市制 50 周年記念事業期間：2020 年 4 月～2021 年 3 月

(2) 市制 50 周年記念日：2020 年 12 月 1 日

4 事業構成



市制 50 周年事業の構成は、記念事業と記録・PR 事業からなるものとします。

記念事業は、「市実施事業」、「市民実施事業」、「連携事業」の 3 事業に分け、「市実施事業」は記念式典などを、「市民実施事業」は市民提案事業などを、「連携事業」は特別事業などを実施するものとします。

(1) 記念事業

ア 市実施事業

中心事業である記念式典や、市制 50 周年を記念した市特別事業、また既存事業のうち基本方針に合致する市冠事業を実施するものとします。

イ 市民実施事業

市民が自ら企画・立案し実施する市民提案事業や、市民団体が実施している既存事業のうち基本方針に合致する市民冠事業を実施するものとします。

ウ 連携事業

企業や各種関係団体等の実施する自主事業のうち基本方針に合致する企業団体等冠事業や、高校や大学との協働による官学連携事業、また市民との協働による特別事業を実施するものとします。

(2) 記録・PR 事業

ポスター・チラシなどの印刷物や各種媒体を使った広報、ロゴマークの活用により、市制 50 周年の周知に努めるものとします。

5 実施体制

市制 50 周年事業の実施については、庁内組織と市民組織 2 つの組織により効果的に行います。

(1) 庁内組織 市実施事業や事業全体の計画策定、特別事業の実施協力などを行います。

ア 市制 50 周年事業実施本部：三役及び部長級

イ 市制 50 周年事業検討部会：課長級

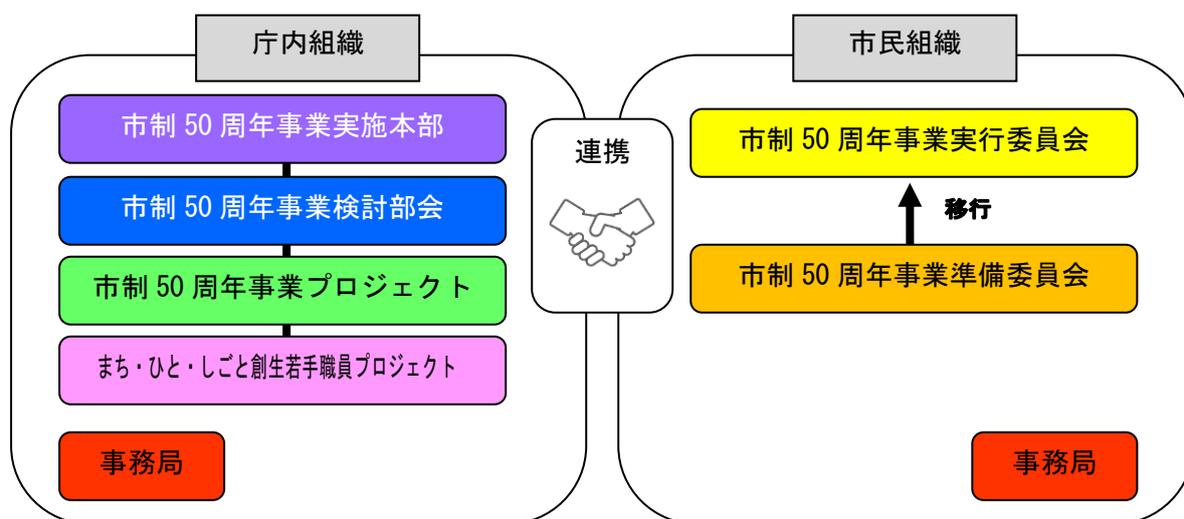
ウ 市制 50 周年事業プロジェクト：主事補・技師補～係長級

エ まち・ひと・しごと創生若手職員プロジェクト：主事補・技師補～主事・技師

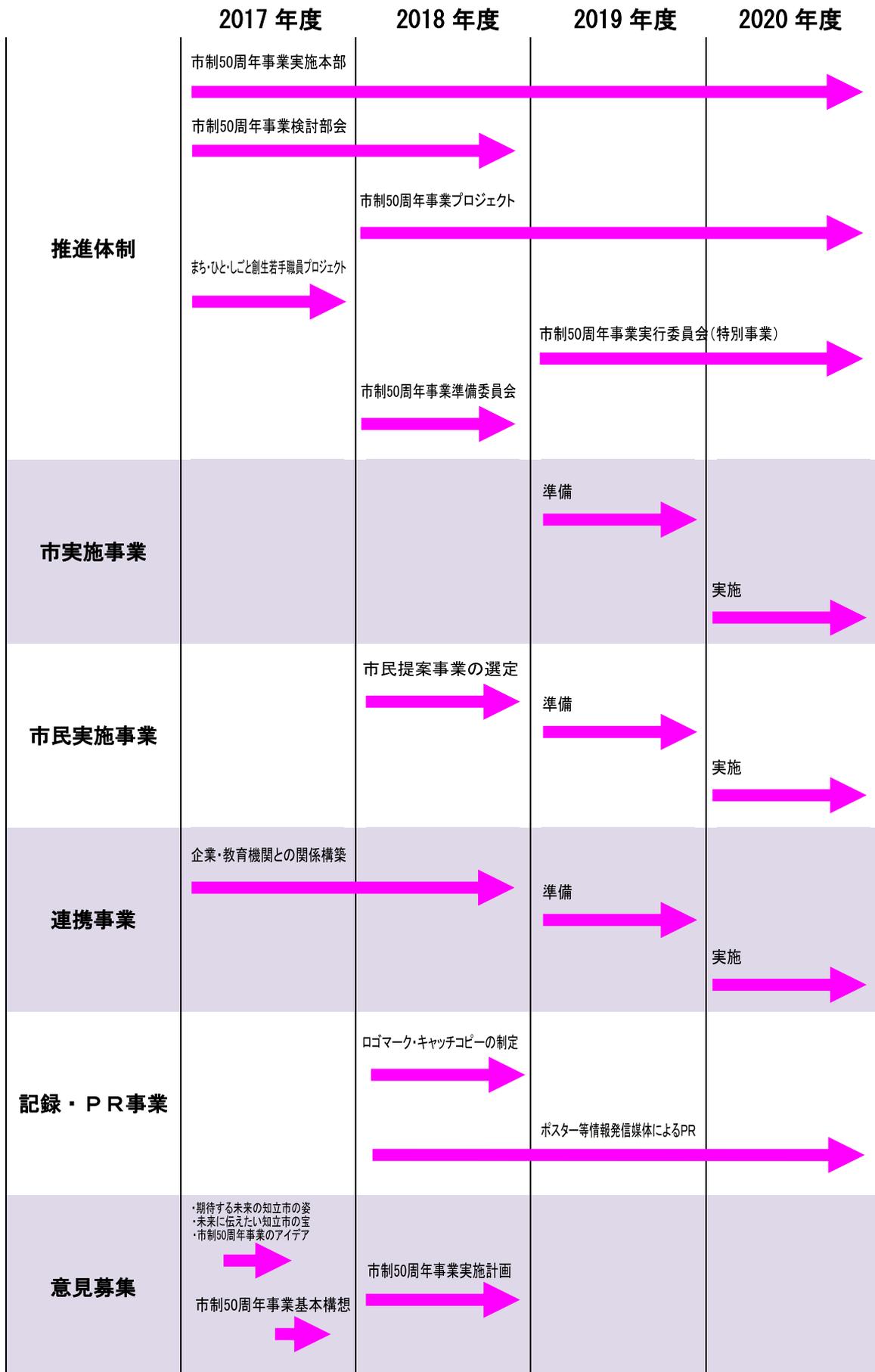
(2) 市民組織 実施計画(案)に対する意見出しや特別事業の検討・実施などを行います。

ア 市制 50 周年事業実行委員会：関係団体メンバー、公募市民、企業社員など

イ 市制 50 周年事業準備委員会：関係団体の長、公募市民、企業社員など



6 実施スケジュール



(参考) 市民の皆さまのご意見

(1) 募集概要

募集期間	平成 29 年 9 月 1 日 (金) ~平成 29 年 9 月 29 日 (金)
募集項目	・期待する未来の知立市の姿 ・未来に伝えたい知立市の宝 ・市制 50 周年事業のアイデア
周知方法	広報ちりゅう 9 月 1 日号に掲載 市ホームページに掲載 移住定住促進 Facebook ページ「かえるまち知立」に掲載

(2) 募集結果

ア 期待する未来の知立市の姿

- ・ 7 小学校の窓からブラスバンドのメロディーが流れること
- ・ 猿渡川の堤防に桜の木を植えてお花見スポットに
- ・ 東海道の宿場町であり、古来より人が集う、にぎわい、そして、知立に「生まれて」、
「育って」、「住んで」よかった！と心から思える、人情や郷土愛あふれる活気あるまちであること。国籍や人種などの分け隔てなく誰もが「ともだち『ちりゅう』」であふれるまち。

イ 未来に伝えたい知立市の宝

- ・ 7 本の赤丸ポスト
- ・ 知立市マスコットキャラクターちりゅうっぴ
- ・ 八橋かきつばた園 (無量壽寺)
- ・ 在原業平像と歌碑
- ・ 東海道松並木
- ・ 知立神社多宝塔
- ・ 知立神社祭神と知立まつり
- ・ 知立祭り囃子「神舞」
- ・ 内藤魯一像
- ・ 明治用水西井筋
- ・ 「知立はともだち」の表現にあるように、郷土愛にあふれている風土
- ・ 名鉄三河線重原駅近くの傍示杭
- ・ 落田中の一松

ウ 市制 50 周年事業のアイデア

- ・ 音楽隊を呼んで行進
- ・ ミス知立としてMr. Childrenのコンサート誘致
- ・ スペシャルブラスバンド（小学生・中学生・高校生・成人）の結成
- ・ 新名所を取り入れた（観光・健康を兼ねた）ウォークラリー
- ・ 知立市よいとこ文化展（総合文化展）
- ・ ニュースポーツやパラスポーツの実施及び開発
- ・ ネンリンピック
- ・ 知立市ジョギング大会
- ・ 市制 50 周年事業盛り上げ隊の設置
- ・ 街角懐古展
- ・ 知立の 50 景作品募集
- ・ 総踊り（「知立小マーチ」、「わがまち、知立」、「ちりゅっぴ、ちりゅっぴ」）
- ・ ちりゅっぴの巨大人型（人文字）でギネス記録に挑戦

(参考)これまでの知立市のあゆみ

1970年(昭和45年)	知立市市制施行(県下26番目)
1971年(昭和46年)	知立市消防本部・消防署発足
1972年(昭和47年)	知立市総合計画基本構想策定 八橋配水場完成
1973年(昭和48年)	知立市総合計画策定 市の木「けやき」、市の花「かきつばた」制定
1974年(昭和49年)	知立西小学校開校 国道155号バイパス開通
1976年(昭和51年)	八ツ田小学校開校
1977年(昭和52年)	竜北中学校開校
1978年(昭和53年)	「知立市民の誓い」制定 市庁舎新築移転、中央公民館開館
1979年(昭和54年)	知立南小学校開校 猿渡公民館開館 消防庁舎新築移転 知立文化広場開館
1980年(昭和55年)	第2次知立市総合計画策定
1981年(昭和56年)	衣浦東部広域行政圏協議会設立
1982年(昭和57年)	福祉体育館開館 知立南中学校開校
1983年(昭和58年)	国道23号知立バイパス開通
1984年(昭和59年)	第3次知立市総合計画策定 保健センター開館
1985年(昭和60年)	知立市行政改革大綱策定 市営駅前駐車場完成
1986年(昭和61年)	八橋史跡保存館開館 知立東高校開校 クリーンセンター完成
1987年(昭和62年)	ウォーターパレスKC開館 図書館・歴史民俗資料館開館



知立市市制施行



消防本部・消防署発足



市庁舎新築移転



図書館・歴史民俗資料館

1990年（平成2年）	知立の山車文楽とからくりが国の重要無形民俗文化財に指定 新地公園完成
1993年（平成5年）	第4次知立市総合計画策定 福祉の里八ツ田開館
1994年（平成6年）	長野県伊那市と友好都市締結
1995年（平成7年）	知立市・伊那市災害時相互応援に関する協定締結 野外センター（伊那市）完成
1998年（平成10年）	知立市ホームページ開設 中町銀座地区市街地再開発ビル「リリオ」完成
2000年（平成12年）	オーストラリアのウインダム市と姉妹都市提携 市役所リリオ出張所開所 ミニバス運行開始 文化会館（パティオ池鯉鮒）開館
2001年（平成13年）	生涯学習都市宣言
2003年（平成15年）	第5次知立市総合計画策定 衣浦東部広域連合（消防局）発足
2004年（平成16年）	衣浦豊田道路開通
2005年（平成17年）	知立市まちづくり基本条例制定
2006年（平成18年）	ボランティア・市民活動センター開設
2008年（平成20年）	人口7万人達成
2009年（平成21年）	学校給食センター新築移転
2010年（平成22年）	いきがいセンター開所 平和都市宣言
2011年（平成23年）	定住自立圏形成協定締結 知立市環境美化推進条例制定
2012年（平成24年）	知立市オリジナルナンバープレート交付開始 知立市多文化共生センター「もやいこハウス」開所 知立市子ども条例制定
2013年（平成25年）	災害時相互応援協定締結 （福井県鯖江市、富山県魚津市、岐阜県下呂市） 知立南保育園新築移転 西三河災害時相互応援協定締結
2014年（平成26年）	災害時相互応援協定締結（石川県能美市、滋賀県栗東市） 西町配水場完成 知立市マスコットキャラクター「ちりゅっぴ」決定
2015年（平成27年）	第6次知立市総合計画策定 中央子育て支援センター開所
2016年（平成28年）	知立の山車文楽とからくりがユネスコ無形文化遺産に登録



ミニバス運行開始



文化会館（パティオ池鯉鮒）



オリジナルナンバープレート



知立市マスコットキャラクター「ちりゅっぴ」



中央子育て支援センター

(参考)知立市の概要

位 置



愛知県ほぼ中央部に位置し、主要な国・県道、名鉄本線・三河線が交差する交通の要衝となっています。

【車で（市役所まで）】

- ・伊勢湾岸自動車道（新東名）豊田南 IC より約 10 分
- ・伊勢湾岸自動車道（新東名）豊明 IC より約 15 分
- ・名古屋より国道 23 号線または国道 1 号線にて約 40 分

【電車で（名鉄知立駅まで）】

- ・名鉄名古屋駅より特急で約 20 分
- ・名鉄豊橋駅より特急で約 30 分

市 章



昭和 32 年 10 月愛知教育大学教授大野元三氏の考案によるもので、古くから交通の要衝として東西南北に通じた知立市の発展的な土地柄をテーマに、伊勢物語で有名なかきつばたの花を図案化したものです。

市の花 かきつばた



伊勢物語の中で在原業平が三河八橋においてめでたゆかりの花。昭和 48 年 8 月、市民からの公募によって決められました。

市の木 けやき



他の樹木を圧倒する気迫を感じることができ、知立市の発展を象徴するものとして昭和 48 年 8 月に市民からの公募によって決められました。

知立市民の誓い

かきつばたの花、街道の松並木。歴史と伝統にはぐくまれた、
明るく住みよい知立市の発展をめざし、
ここに、わたくしたちは市民の誓いをさだめます。

1. 交通徳を守り、安全なまちをつくります。
1. 健全な環境をつくり、若い力を育てます。
1. 感謝の心を持ち、明るい家庭をつくります。
1. 公共物を大切にし、美しいまちをつくります。
1. 教養を高め、文化の向上につとめます。

(昭和 53 年 3 月 9 日制定)

生涯学習都市宣言

私たち知立市民は
ち 知をたてて
り 理想をかかげ
ゆ ゆっくりと
う うるおいをもとめ
し 生涯学ぶ
ことを決意し、
ここに「生涯学習都市」を宣言する。

(平成 13 年 2 月 17 日制定)

知立市平和都市宣言

歴史と伝統に育まれた知立市。
私たちはこのまちで、平和で安心して暮らすことを心から願っています。
私たちが願う明るく住みよいまちは、平和なくしてはかないません。
そして世界の恒久平和は、人類共通の願いです。
私たちは世界で唯一の核被爆国の一員として、二度と惨禍を繰り返さないよう、
国際社会を導く役割を果たさなければなりません。
ここに知立市は、核兵器の廃絶と戦争のない平和な世界の実現に貢献することを
誓い、「平和都市」を宣言します。

(平成 22 年 6 月 18 日制定)